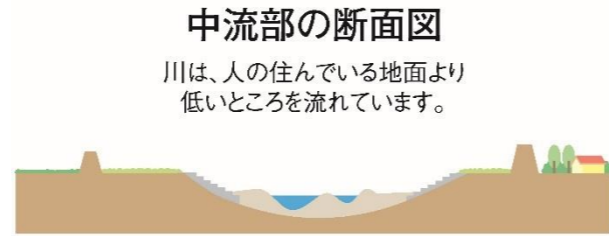


運ばれてきた石や砂が^{すな}つもる中流

中流のようす

川が山地をぬけた平野から始まる中流部では、川のかたむきはゆるやかになり、水のいきおいも弱まります。そのため、上流から運んできた石や砂を運びきれずに、つもらせます。

川の水が石や砂を運ぶことを運搬作用、石や砂をつもらせることをたい積作用といいます。



中流部の断面図

川は、人の住んでいる地面より低いところを流れています。



①レキ川原(寄居町)

荒川中流部の地形



道路
鉄道
荒川の流域範囲



0 20km

②荒川せん状地(寄居町付近)



川が曲がりくねっているようすは蛇ににているので蛇行とよばれています。



山あいの出口にひろがるせん状地

山あいの出口は、下流にむかって扇をひろげたように石や砂がたい積するのでせん状地とよばれています。

川の豆知識 曲がりくねったむかしの流路が残る中流部

中・下流部の川が曲がりくねった場所は、大雨で水のいきおいが強くなると、むかしはよく水があふれることがありました。いまは、そのような場所は、川を直線的になおしたので、曲がりくねっていた場所は、池として残されることになりました。



池になっているむかしの荒川のあと(川島町)